



JQA-2631 (合成樹脂塗料)
JQA-EM3548 (本社工場)

カチオン系架橋型マイクロアクリルエマルション下塗材

水系 W シーラー

優れた付着性 新築仕様に対応 優れた耐水性 優れた透湿性

用途

- 窯業系サイディングボード、各種仕上げ材の塗り替え塗装の下塗り材
新設、及び無塗装のコンクリート・モルタル面の塗装の下塗り材

特長

- 水性1液のエマルション塗料なので溶剤臭がありません。
- モルタル・コンクリート面との付着性に優れるので、新規塗装に対応します。
- 旧塗膜との付着性に優れるので、塗り替えにも対応します。
- 優れた耐水性により、基材をタイトに保護します。
- 優れた透湿性により、寒冷地でも施工に適しています。
- 既調合なので希釈の必要がありません。

適合上塗材

ナノシリコンW、水系シリコンW、Mr.テンジュー
シエル、アルバイオ

※ナノコンボジットWには使用できません。

塗装仕様

■ 下地のパターンを変えない場合(上塗りがナノシリコンWの場合)

工程	使用塗料	希釈割合 (kg/缶)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶)	塗装間隔 (23°C)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下塗り	水系 W シーラー 15 kg	既調合	ハケ・ローラー	1	0.1 ~ 0.2	75 ~ 150	—	2h 以上	—
上塗り	ナノシリコン W 15 kg	0 ~ 1.5 (清水)	ハケ・ローラー エアレス	2	0.12 ~ 0.16	47 ~ 62	2h 以上	—	24h 以上

※塗装量に清水は含まれていません。塗付量は条件、下地のテクスチャーパターンにより増減します。

■ 模様をつける場合(上塗りがナノシリコンWの場合) ※上塗りがMr.テンジューの場合はリフレッシュフィラーは使用できません。

工程	使用塗料	希釈割合 (kg/缶)	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶)	塗装間隔 (23°C)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下塗り	水系 W シーラー 15 kg	既調合	ハケ・ローラー	1	0.1 ~ 0.2	75 ~ 150	—	2h 以上	—
中塗り	リフレッシュフィラー 16 kg	0.2 ~ 0.5 (清水)	砂骨ローラー	1	0.8 ~ 1.2	13 ~ 20	—	8h 以上	—
		0.8 ~ 1.6 (清水)	中毛ウールローラー		0.3 ~ 0.5	32 ~ 53			
上塗り	ナノシリコン W 15 kg	0 ~ 1.5 (清水)	ハケ・ローラー エアレス	2	0.12 ~ 0.16	47 ~ 62	2h 以上	—	24h 以上

※上塗りがMr.テンジューの場合はリフレッシュフィラーは使用できません。

※塗付量に清水は含まれていません。塗付量は条件、下地のテクスチャーパターンにより増減します。

※上塗りがシエルの場合は、中塗りにシエルロールやシエルタイル玉吹き機を使用することで、高弾性仕上げが可能です。

※旧塗膜の劣化が少ない場合は、水系Wシーラーを省くことができます。

荷姿

水系Wシーラー 15 kg

注意事項

【仕様全般】

- 被塗物の表面温度が5°C以下の場合は塗装を避けてください。
- 水系塗料に使用するハケ・ローラーは、水系専用のものを使用してください。
- 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5°C以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあると艶引けを起こすおそれがあります。
- 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
- 塗装間隔時間は標準であり、立地条件や気象条件により異なります。
- シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがある為、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプを使用してください。
- ハテを使用する際は外部用ハテを使用してください。
- 旧塗膜が弾性塗料の場合は施工を避けてください。スキンの場合は当社営業担当までご相談ください。
- 酸洗を行う場合は、水をかけた後に行い、その後の水洗は念入りしてください。
- 水洗後、1日以上乾燥時間をとってください。
- エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
- 目地部が深い場合、目地ハケなどで塗装してください。
- 目地部に塗料がたまつた場合や、たれが発生した場合はむら切りしてください。
- 塗装中に塗料を開放して放置すると上乾きすることがありますので注意してください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
- 塗装後、降雨や結露等で白化した場合は、目荒らしを行って再度塗装してください。
- ガラス・アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエスに水をしみ込ませてふき取ってください。乾いた時は、ラッカーシンナーでふき取ってください。

- 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
- 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

【塗料に関する注意】

- 使用前には十分攪拌してください。
- 排水溝には捨てないでください。
- 小分けして使用した水系シーラーは元の石油缶には戻さないでください。
- 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3°C以上の室内で行ってください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、十分に注意してください。
- 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151
東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・札幌

カタログ記載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
1308030085340